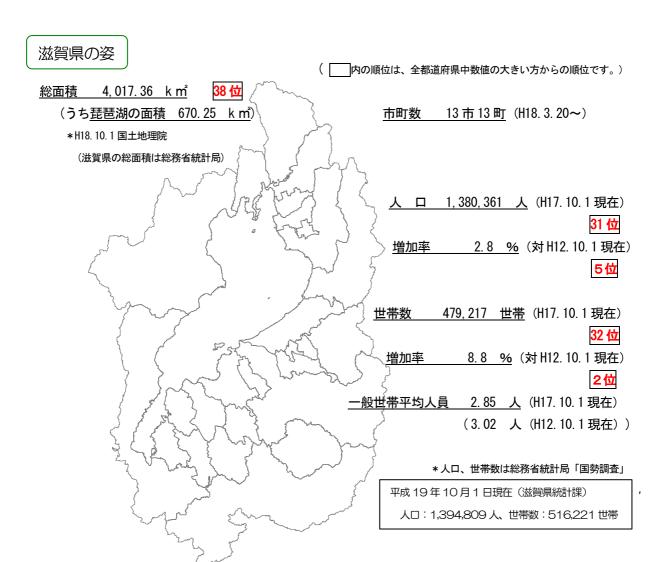
財政事情

「もったいない」で拓く滋賀の未来



平成19年(2007年)11月

滋賀県



<u>県民所得 323.5 万円</u>(県民1人当たり)

4位

*内閣府「平成16年度県民経済計算」

実質経済成長率 4.0 % (県内総支出(実質) ベース)

6位

*内閣府「平成16年度県民経済計算年報」

県内総生産における第2次産業の占める割合46.8 %

1位

*内閣府「平成16年度県民経済計算年報」

表紙の絵

「畔木の秋」(野口謙蔵・昭和 16 年制作)

滋賀県立近代美術館所蔵

野口謙蔵(のぐち・けんぞう)は、滋賀県蒲生郡桜川村(現東近江市)に生まれ、生涯故郷蒲生野の自然や人々の暮らしなどを、愛情込めて描き続けた滋賀県を代表する洋画家です。

この作品は、右上からの秋の柔らかい陽光に照らされた大地の実りをテーマとしていますが、その光線を見事に意識し、大地や立ち並ぶ畔木は、立体的な量感を巧みに感じさせています。また、左上には黒や青で画面に程よく変化をもたせ、秋の午後の田園風景として独特の主張があり、完成度も極めて高い作品です。この時期の作品のなかでも、これに類するものは確認されておらず、謙蔵の多様な画風と、豊かな才能をよく表した作品です。